



まちがど トピックス



© ORIX Buffaloes

■オリックスの選手とふれあえるイベントがいっぱいの2日間！

7月22日、23日、富田林バファローズスタジアムで、富田林ドリームフェスティバル、ウエスタン・リーグ公式戦「オリックス・バファローズ対広島東洋カープ」が開催され、夏空の下、2日間にわたって熱戦が繰り広げられました。当日は、守備に就く選手をハイタッチで送り出す「選手の花道」や、オリックスの選手とのキャンプファイヤーや野球場でのキャンプが楽しめる「富田林ドリームキャンプ」などのイベントも実施され、参加者はプロ野球選手とのふれあいを楽しんでいました。



■日本の文化大好き！

7月21日～8月10日、姉妹都市であるアメリカ合衆国ベスレヘム市から、交換学生3人が本市を訪れました。

7月25日には、市役所を訪問した後、富田林寺内町を散策し、行灯作りや陶芸体験を楽しみました。また、8月8日の茶道体験では、お点前を見て「これは何？」と興味津々な様子で過ごすなど、滞在中さまざまな体験を通して、日本の文化を学んでいました。

■レンズを通して見る世界

7月29日、レインボーホール（市民会館）で、「夏休み親子工作教室～面白レンズを作って撮影しよう～」が開催されました。

当日は、上下逆さまに見えるレンズや万華鏡のように見えるレンズを親子で協力して作成しました。子どもたちは、レンズの中の普段見ている景色と違う世界に「面白い！こんなの撮れるんやー」と夢中でレンズをのぞきこみながら写真を撮っていました。



写真とともに見る7月～8月のできごと



■夜空を彩る光の花束

8月1日、毎年恒例のPL花火芸術が開催されました。

今年は「海から空へ」をテーマに掲げ、初となるストーリー仕立てで構成。音楽とともに約1万発の花火が打ち上げられました。

終盤の海から飛び立つ鳥をイメージした「スターマイン」では約3分間、絶え間なく花火が打ち上げられ、夜空が明るく照らされると、大きな歓声と拍手が起こりました。

■どんどこ和太鼓に挑戦

8月8日、9日、富田林高校で、富田林で一番受けたい授業「チャレンジ和太鼓どんどこどん」が開催されました。

参加した子どもたちは、富田林高校と河南高校の生徒に教えてもらいながら、掛け声に合わせて和太鼓を練習していました。

子どもたちは休憩中もバチを離すことなく、和太鼓を打つポーズをまねるなど、夢中になって楽しんでいました。



■平和の尊さ訴えた3日間

8月11日～13日、すばるホールで、第33回平和を考える戦争展が開催されました。

12日には、平和記念講演会が催され、市内在住で戦争体験者のお二人から戦時中の配給の様子など貴重なお話を伺うことができました。

また、展示室では、大阪大空襲の模様や市内小学生の描いた非核・平和ポスターなどが展示され、来場者は戦争の悲惨さ、平和の尊さを改めて見つめ直していました。

■いざ、全国大会へ！

8月16日、PL学園高等学校の軟式野球部員、学校関係者ら21人が市役所を訪れ、多田市長に第62回全国高等学校軟式野球選手権大会出場の報告をしました。

市長は「是非、優勝旗を持って改めて優勝の報告に来てください」とエールを送りました。

古市 粘主将は「チームワークの良さを生かし、勝つ執念を持って、諦めずにレベルの高い野球をしたい」と意気込みを語りました。

